

『当たり前』のことが一番大切
仕事に出かけて、『無事に帰ってくる』…、そして、『ただいま』と家のドアを開ける

「構内」事故の防止 (バック事故多発…後方の安全確認)

狭い道でのすれ違い時は、車両停止の徹底 (無理して先に進まない)

雪山で見えにくい時は…身を乗り出して確認！ 雪山の陰からの飛び出し注意！

冬道での追い越し・車線変更は、事故に直結！ 危険な追い越し 生命の危険！

交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意

見落とすな！ 『一時停止の標識』
確実な『一時停止』と左右の安全確認

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは…『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

交差点は、気配り・目配り、危険予知

- 右左折時は、交差点中央で一旦停止、最徐行で進行
- 左折時は、ハンドルを切る手前で、安全確認の徹底
- イエローストップ運動の徹底 (黄色信号は、「止まれ」)
- 助手席の安全窓の視界確保と車内清掃の徹底

大型トラックで女性を数百メートル引きずり死亡させる

死亡ひき逃げで元運転手に有罪判決
事故後すぐに洗車しており、人をひいた認識があった

2018.3.7 11:30

愛知県で平成26年7月、大型トラックで自転車の女性を数百メートル引きずり、死亡させたとして、自動車運転処罰法違反 (過失致死) や道交法違反 (ひき逃げ) などの罪に問われた元運転手の男性被告 (69) に地裁は7日、懲役1年、執行猶予3年、罰金50万円 (求刑懲役3年6月、罰金50万円)の判決を言い渡した。被告は「人をひいた認識はなかった」などと無罪を主張。検察側は論告で「田畑に囲まれた静かな地域で、自転車の転倒音や引きずる音を聞いたはずだ。事故後すぐに洗車しており、人をひいた認識があった」と指摘した。起訴状などによると、被告は午前10時10分ごろ、県道を大型トラックで走行中、自転車で道路を渡っていた女性=当時 (83) =をひき、数百メートル引きずって死亡させ、走り去ったとしている。

大雨で視界悪化 ショートカット横断が事故を招く

大雨の中で横断の高齢男性、クルマ2台にはねられて死亡

2018.3.9

8日午前6時ごろ、大雨で視界が悪化している中、徒歩で道路を横断していた高齢男性がクルマ2台にはねられる事故が起きた。男性は死亡しており、警察は最初にはねたクルマの運転者を逮捕。もう一方の運転者からも事情を聞いている。近くには横断歩道や信号機が設置された交差点もあったが、70歳の男性はその手前部分を徒歩で横断していたところ、交差進行してきた軽乗用車が衝突。男性は対向車線側へ弾き飛ばされた直後、対向してきた別の軽乗用車にもねられたという。事故当時、現場では強い雨が降っていて視界が悪くなっていた。警察ではショートカット横断が事故につながった可能性もあるとみて調べている。

交差点 右折車と直進車が衝突 3人けが

事故当時は雨が降っていて、視界が悪かった

◇交差点の右折は…十分に余裕を持って、直進車・歩行者に注意しましょう◇

2018/3/9(金) 12:29

9日午前6時ごろ、宮城県の交差点で直進していた乗用車と右折してきた乗用車が衝突しました。この事故で、2台の車に乗っていた20代の男性あわせて3人が、病院に搬送されました。警察によりますと3人はいずれも軽傷で命に別状は無いということです。警察によりますと、事故当時は雨が降っていて視界が悪かった。

土手の上の市道 センターライン付近を歩いていた男性

後ろから走ってきた大型トラックにはねられ、死亡
「発見が遅れた」

2018/3/9(金) 12:47

9日午前1時半ごろ、兵庫県の道路で、歩行中の84歳の男性が後ろから走ってきた大型トラックにはねられ、死亡しました。警察は、トラックを運転していた男性容疑者 (63) を過失運転致傷の疑いで現行犯逮捕。容疑者は「人とぶつかりました」と自ら通報していて、警察に対し「発見が遅れた」と話しているということです。現場の道路は、普段からトラックがよく通る場所で歩道はありませんでした。男性は、センターライン付近を歩いていたとみられ、警察が当時の状況を詳しく調べています。